

フィリピン留学・支援だより②

2018年3月4日

5日(月)から始まる語学レッスンを前に、フィリピンにヨーロッパ人が初めて上陸したセブ歴史地区を見学しました。スペイン王カルロス1世の命を受け、香辛料貿易とキリスト教布教を求め西回りで地球一周をめざしたマゼラン。1521年4月セブ島に着き、フィリピン(当時ラザロ諸島)に初上陸します。

その地に十字架を立て、首長フマボンら住民800人に洗礼。マゼラン死後、赴任したレガスピはスペイン領サント・ニーニョとして統治しました。

留学生はマゼラン隊が十字架を立てた場所のマゼランクロスを見学。日曜のため、聖日礼拝のために多くの家族連れが訪れ、ろうそくを灯して祈りを捧げていました。



マゼラン・クロス(十字架)前にて



マゼラン・クロス内部と天井画

サント・ニーニョ寺院

レガスピが到着した1565年頃、イエスの幼児像が発見され、寺院が建設されました。留学生は礼拝者で込みあう礼拝堂集会所・回廊・パティオ(中庭)を巡ります。敬虔なカトリック教徒が9割に及ぶというフィリピンの文化に肌で感じました。

フィリピン道教寺院

フィリピンと中国の交流史は千年以上に及びます。巨大ショッピングモールのSMやアヤラなども華僑系資本です。セブ市の「山の手」の斜面をバスで30分近く登ると、森の中に老子を始祖とする寺院の伽藍が徐々に現れました。広い内部は赤白などで彩色された龍・鳳凰像で装飾されています。中国・西欧東南アジアの交差点ともいえるフィリピンの地理的重要性を感じました。帰路に、SM STOREで日用品を買いました。巨大さと人混みで、食品売場が発見できなかったグループもありました。



サント・ニーニョ(男児:イエス)寺院礼拝堂

『目標設定』ミーティング

夕食後、16日間の留学生一人ひとりの目標を確認しました。ボランティア(スラムの子ども支援)では、

「来日の希望に貢献する」「何が必要なのかを調査する」「何ができるのかを考える」「積極的に話しかける」「夢を聴く」等
語学研修では、「6月英検2級を取得する(4人)」「英語の苦手意識をなくす」「英語の基礎」「会話に素早く応答できる」

「偏差値60以上の学力」等

一日一日精一杯の努力を大切にして、全員が自己目標を達成することを願っています。



フィリピン道教・寺院内部